



上尾ロータリークラブ

2024-2025年度R.I.テーマ



THE MAGIC OF ROTARY



2024-2025年度 門崎 由幸会長

第3051回 例会 2025. 3. 6

会長あいさつ

週報 No.2283
発行 2025年 3月 13日

2024-2025年度
会長 門崎 由幸
幹事 齋藤 哲雄
副会長 坂本 忠光
副幹事 大木 崇寛
編集責任者・公共イメージ向上委員会
委員長 丹井 亮一

ゲスト
上尾市上下水道部 経営総務課
主任 柳下 千春様
上尾市上下水道部 水道施設課
主査 川田 隆司様
横山真理奈様
川人 礼於様

行事予定
3月20日 定款の規定により休会
3月27日 卓話 上尾商工会議所
青年部 会長 奥川淳一様
テーマ スローガン「気合」

皆さん、こんにちは。本日もご出席いただきありがとうございます。
2月27日はインターシティミーティング（IM）が桶川市民ホールで開催され、当クラブからは15名の会員が参加いただきました。来年のIMでは久保田ガバラ補佐予定者を筆頭に、次年度坂本会長・次々年度会長・IM実行委員長が次々年度IMのための紹介の場になると思います。上尾ロータリークラブ丸となり素晴らしいIMにしていければと思いますので皆さまのご協力をよろしくお願い申し上げます。今回の内容はオープニングとして城西川越中学校・城西大学附属川越高等学校の和太鼓を披露していただきました。また記念講演会では、一般公開として埼玉県警察音楽隊の演奏がありました。本格的な素晴らしい演奏及び演出でした。

2月28日にはよいよ次年度関係が始まり、地区補助金セミナーが戸田市文化会館で行われ、坂本次年度が出席されました。今後の予定としては3月8日（土）にロータリークラブセントラルセミナーが大宮ソニックシティ市民ホールで開催されます。このセミナーには私と坂本副会長が参加予定となっています。また3月11日（火）には地区ラーニングセミナーが戸田市文化会館で開催されます。

さて3月に入り卒業シーズンになりました。私は花咲徳栄高校同窓会の会長として毎年卒業式に出席させていただいています。同校は41期目で2万6千人の同窓会会員がいます。卒業式前日の8日に同窓会入会式を行い、10日に卒業式を行います。少し楽しみなのは、巨人にドラフト1位入団した石塚君に会えることです。報道各社もおそらく来るのかなと思います。

高校卒業といえば、公立高校の無償化がほぼ決定されました。年間11万8800円就学支援金の所得制限を撤廃し実質的に無償化することです。小中学校の義務教育から、高校も同様になっていくのか、また高等学校教育がどのように求められているのかなのだと思います。文部科学省は「生徒の能力・興味・関心・進路等の多様化に対応した特色ある学校づくりが求められている」と言っています。今後どうあるべきか国政府行政任せではなく、国民全体で考えていくべき課題であると感じています。本日もよろしくお願いいたします。



ROTARY CLUB OF AGEO

幹事報告

大木 崇寛 副幹事

◇3月のロータリーレートは1ドル＝150円です。
◇ロータリークラブセントラルセミナーが大宮ソニックシティ市民ホールで3月8日に開催されます。



例会主題

上尾市政出前講座 水道水ができるまで

上尾市上下水道部 水道施設課 横山真理奈様

皆さま、こんにちは。本日は「ロータリークラブ様の「水と衛生」について理解を深める月間」ということで、我々上尾市上下水道部にお声掛けいただきありがとうございます。水道施設課では、主に浄水場の維持管理や水質管理に携わっております。本日は、水道水ができるまでの説明をさせていただきます。



はじめに、私たちは普段どのくらい水を使っているでしょうか。既に本日も水道をご使用いただいた方がほとんどかと思いますが、ご家庭では、炊事、洗濯、トイレ、お風呂、洗面などに使われます。厚生省の資料によると、ご家庭での1日の水道使用量を1人当たりに換算すると、炊事に40L、洗濯に35L、トイレに50L、お風呂に80L、洗面その他に25Lとなり、家庭内での1人1日あたりの使用量は約230Lとなるそうです。さらに学校・会社・公園・飲食店などの家庭外で約70Lを使用し、合計で約300Lの水が使われています。日本国内では、1日当たり400億Lもの水道水が使用されていることとなります。上尾市においては、1日当たり6千3百万Lが使われています。これらの水量について多く感じたでしょうか、少なく感じたでしょうか。私たちが毎日これだけの量を使っている水道水ですが、本日はこの水道水がどうやってできるのか、お話をさせていただきます。まず上尾市の地図をご覧ください。市域のほぼ中



央をJR高崎線が通り、その西側に鴨川が流れています。鴨川とBS通りを境に、東側は東部浄水場、西側は北部浄水場、また西上尾第一・第二団地には、西部浄水場から、それぞれ水を送っています。このほか、原市には原市ポンプ場があり、東部浄水場から送られてきた水を原市団地に増圧して送っています。これらの浄水場やポンプ場は上尾市にある上下水道部庁舎の集中監視室で24時間365日休みことなく、電話回線を使用して運転や監視をしています。次に浄水場から皆さまのご家庭に届いている水がどのようなものであるのかご説明します。水源は2種類あり、1つは利根川や荒川の河川水で、もう1つは上尾市内に掘った深井戸の地下水です。河川水（利根川・荒川）は、埼玉県の浄水場で処理して、飲める水にしています。この水を「県水」と呼び、県から購入しています。深井戸（地下水）は、上尾市の浄水場で処理して、飲める水にしています。この水を「自己水」と呼んでいます。上尾市の水道水の内訳は、県水が約75%、自己水が約25%です。

県水は荒川・利根川の上流にあるダムから計画的に水を流し、埼玉県内で取水して、埼玉県の浄水場で浄水しています。埼玉県の浄水場の資料を基に、川の水が飲み水になるまでを簡単に説明します。まず川の水を取水口から取り入れて、浮遊物（ごみ）などを取り除きます。→取水口から取り入れた水をポンプで着水井に送ります。→急速かくはん池で川の水に薬品を加えて、勢いよく混ぜます。→フロック形成池では薬品の働きにより、水の中の小さな浮遊物を沈めやすい大きさの粒子（フロック）にします。→フロックを沈めて池で沈んで取り除きます。取り除いたフロックは、濃縮槽に引き抜き、濃度を上げていきます。それを脱水機で搾り塊にします。この塊は浄水発生土と呼ばれていますが、通気性の



ROTARY CLUB OF AGEO

水源(河川水)



良さ、窒素分の多さ、水はけのよさから、園芸用土やグラウンド用土として再利用されています。→次に沈んで池を通過した水は、急速ろ過池の中でさらに微細な浮遊物を取り除かれ塩素で滅菌されます。→ろ過された水はもう飲める水となっています。これを浄水池にいったん貯めます。→この水を送水ポンプによって県内の市町村へ送ります。上尾市では北部浄水場と東部浄水場から県水を受水しています。

次に上尾市で水を飲むようのお話をします。まず、深さ200～400mまで掘った井戸から、ポンプで水をくみ上げます。井戸は市内に30本あり、上尾村にある上下水道部庁舎から電話回線を使ってポンプの起動・停止を行っています。→井戸からくみ上げた水は、道路に埋まっている導水管を通過して、浄水場内にある着水井という建物に集まります。→井戸の水はそのままでは飲めない水なので、不純なものを取り除くための準備と、消毒のために次亜塩素酸ナトリウムをよく混ぜます。→薬品とよく混ぜた水は、ポンプでろ過機に送ります。このろ過機で、小さな不純物、鉄やマンガンなどを砂の層を通して取り除きます。→ろ過機を通った水は、もう飲める水になっています。それを一旦、配水池というところにためておきます。北部浄水場の配水池の高さは8mあり、容量はひとつ8,000立方メートルで2池あります。先ほど説明した県水と、上尾市の自己水が、配水池で混ぜられます。これで、みなさんのご家庭に水を送る準備は完了です。配水池の配水ポンプで、皆さんのご自宅や会社へ送っています。

次は、水道水の水質についてお話しします。皆さんは、水道水に安全性を感じていますでしょうか？水道水は法律でその水質について規定されています。

人の健康に対して悪影響を生じないことや、飲用および日常生活での使用に支障をきたさないことが求められています。

具体的な基準として「水質基準項目」（51項目）が定められ、これに基づいた水質管理を行うことになっています。ここで「水の美味しさ」という点で、必ず悪者になるのが「残留塩素」です。残留塩素とは、水道水の消毒のために入れられた塩素が、消毒効果を持つ状態で水道水の中に残留している塩素のことを言います。これが蛇口から出てくる水で、0.1mg/L以上なければならぬと決められています。悪者扱いされますが、水が安全である証でもあるのです。このほかにも、検査義務はないものの、水道水質管理上注意喚起すべき項目である水質管理目標設定項目27項目や、情報・知見の収集段階である要検討項目47項目というものがあり、水質基準項目と合わせて水道水の安全を確認しています。近年話題となっている有機フッ素化合物の一種であるPFOS及びPFOAは、現在水質管理目標設定項目に設定されていますが、令和8年4月から水質基準に設定される見通しです。上尾市では、これまで年に1回7カ所の蛇口についてPFOS及びPFOAの検査を実施し、定められた目標値に対して十分に低い値であることを確認してきましたが、令和7年度からは検査する蛇口を増やし、原水以外の検査頻度を水質基準項目の検査と同等の年4回に増やし、さらに要検討項目であるPFHxSについても調査を予定しています。

安全な水を蛇口まで届けるためには水道施設のメンテナンスが重要で、上尾市や井戸などの水源では、周辺の事業者の方や住民の方と協力して水道水源の水質を保全することが大切です。浄水場では、施設設備の日常点検や老朽化した設備の更新を行っています。市内の配水管では、老朽管の更新や、定期的な配水管洗浄を実施しています。水道使用者の給水装置でも、設置者による老朽管の更新や、水アカ・錆の発生を予防するために全ての蛇口で水を使用すること、樹脂製の水道管は灯油やガソリンなどの石油系燃料を吸収してしまうので燃料で土壌を汚染しないようご注意ください。また、管理不足による水質低下が起ることがあるため、設置者による定期的な点検と清掃が必要となります。実施に際しては、ご不便をおかけすることがあると思いますが、どうかご理解とご協力をお願いいたします。

次に皆様にお願ひがあります。日頃から水道水の汲み置きなど、災害に備えた水道水の確保をお願いいたします。ペットボトルなどの、蓋の付いている容器で、よくすすいだものを利用してください。次に、空気を残さないように口元まで入れ、しっかりと締めます。空気がわずかでも入っていると、空気中の雑菌が水の中で繁殖してしまいますので、ペットボトルを逆さの状態で保管していただくのが理想です。この状態で冷蔵庫に保存してください。保存の目安は常温で3日程度、冷蔵庫で7日程度です。一般的に、人は生命維持に、1人1日3リットルの水分補給が必要とされています。これは純粋に水を飲むだけでなく、食物からの補給も含まれています。どうか、自分や、ご家族、大切な人を守るためにもご協力をよろしくお願いいたします。

上尾市では、地震などの災害で水道水をみなさんの家庭まで送れないときには、中分にある北部浄水場、平塚にある東部浄水場で応急給水を行います。また、給水車による応急給水も行います。ただし上尾市全域に給水車での給水が行き渡るまでには時間を要します。他の自治体の被災状況を見ると3日～1週間程度かかるおそれもあります。汲み置きの必要に加え、どうかおそれもありません。汲み置きをいただき、広めていただければと思います。よろしくお願ひいたします。ご清聴いただきありがとうございます。



スマイル

卓話いただきありがとうございました。

宇多村会員 あさって58歳になります。
門崎会長／坂本副会長／大木崇寛副幹事／小林会員／尾花会員／大塚崇行会員／島村会員／齋藤博重会員／関口和夫会員／藤村会員／長沼会員／山崎会員

出席率

会員数	33
出席免除	2
出席対象者	31
出席者数	13
41.94%	

(第3050回例会) IMが開催されました！ 2025.2.27 於：響の森 桶川市民ホール

「Fun Is The Best!」のテーマのもと、第5グループのインターシティミーティングが開催されました。ホストいただいた桶川ロータリークラブさま、ありがとうございました。たいへんお疲れ様でした。



例会日 毎週木曜日 12:30～13:30 事務所 〒362-0035 埼玉県上尾市仲町1-8-31 新和エクセルビル303
例会場 上尾東ホテル3F(コミュニティホール) TEL 048-775-7788 / FAX 048-776-9799

